

お知らせ

「Bio Japan 2007」に出展

9月19日～21日にパシフィコ横浜で開催される「Bio Japan 2007」の産総研ブース内に出展いたします。包括的なネットワーク解析システムと題し、計測および知識データに基づく、ネットワーク推定と動態解析を連携した技術の紹介を行います。会場へお越しの際は、是非産総研ブースへお立ち寄り下さい。

[Bio Japan 2007 詳細] <http://expo.nikkeibp.co.jp/biojapan/>

「第7回 日本蛋白質科学会年会」シンポジウムで講演

「第7回日本蛋白質科学会年会」が5月24日～26日に仙台で開催され、亀田 産総研特別研究員（創薬分子設計チーム）がシンポジウムで講演し、このほか、CBRCからは4件のポスター発表がありました。

☞ 公募型シンポジウム B

亀田 倫史（創薬分子設計チーム 産総研特別研究員）

演題「蛋白質シミュレーションにおける水分子モデルの影響」

創薬インフォマティクス技術者養成コース 受講者募集中

平成19年度創薬インフォマティクス技術者養成コースの受講者を募集しています。本コースは、創薬インフォマティクスの基礎知識を計算機実習を交えて短期間に習得することを目的としています。概論・実習・特論の3本柱で、創薬現場ですぐ活用できる技術と応用事例を概観します。

[募集期間] 2007年6月18日～7月13日

[開講期間] 2007年8月6日～10日・9月3日～7日の全10日

[詳細] 生命情報科学技術者養成コース HP <http://training.cbrc.jp/>

NEXT ☞ バイオインフォマティクス速習コースII 受講者募集は8月1日から

[募集期間] 2007年8月1日～8月31日

[開講期間] 2007年9月26日～11月28日の毎週水曜日

詳細は、上記HPをご覧ください。

人事異動

[新規採用] (5/21付)

- ・ 廣瀬 修一（分子機能計算チーム テクニカルスタッフ）

成果紹介

(最近の成果の中から選んだものを掲載しています。)

【論文】

- Tashiro, T., Nakagawa, R., Hirokawa, T., Inoue, S., Watarai, H., Taniguchi, M., Mori, K.: "RCAl-56, a carbocyclic analogue of KR7000: its synthesis and potent activity for natural killer (NK) T cells to preferentially produce interferon- γ ", *Tetrahedron Letters*, **48**(19), pp.3343-3347 (2007).
- Shimizu, K., Muraoka, Y., Hirose, S., Tomii, K., Noguchi, T.: "Predicting mostly disordered proteins by using structure-unknown protein data", *BMC Bioinformatics*, **8**, pp.78, (2007).
- Parthiban, V., Gromiha, M.M., Hoppe, C., Schomburg, D.: "Structural analysis and prediction of protein mutant stability using distance and torsion potentials: role of secondary structure and solvent accessibility", *Proteins: Structure, Function, and Bioinformatics*, **66**(1), pp.41-52 (2007).
- Huang, L.T., Saraboji, K., Ho, S.Y., Hwang, S.F., Ponnuswamy, M.N., Gromiha, M.M.: "Prediction of protein mutant stability using classification and regression tool", *Biophysical Chemistry*, **125**(2-3), pp.462-470 (2007).

研究員紹介

- 1 趣味や自己紹介など
- 2 研究内容や抱負

佐藤 健吾

Kengo SATO

RNA情報工学チーム
共同研究



- 1 今更ながらテトリスにはまっています。でも、全然うまくありません。

- 2 元々は自然言語処理の研究に携わっていました。文法理論や確率モデル、機械学習の切り口から、機能性RNAの解析に貢献していきたいと思っています。

寺田 朋子

Tomoko TERADA

創薬分子設計チーム
テクニカルスタッフ



- 1 バイオ関連ソフトの技術サポートとして、2社約8年の会社員生活を経験。スポーツ観戦と音楽・甘い物が大好きです。

- 2 現在受講者募集中（～7/13）の創薬コースで、実習部分の講師を担当しています。講師と呼ぶにはまだまだ未熟者ですが、温かく見守って頂ければ幸いです。

山田 真介

Shinsuke YAMADA

共同研究



- 1 『酒・食』が趣味です。特に日本酒の奥深い世界に魅せられています。バドミントンをするのも楽しみの一つです。

- 2 配列のマルチプルアライメントアルゴリズムの改良や、タンパク質立体構造に基づくアライメント中の保存領域抽出アルゴリズムについて研究しています。

【DB】 TMBETA-GENOME

ゲノムに含まれる β -バレル型膜タンパク質のデータベース



* Gromiha, M.M., et al.: "TMBETA-GENOME: database for annotated β -barrel membrane proteins in genomic sequences", *Nucleic Acids Research*, **35**(Database issue), pp.D314-D316 (2007).

<http://tmbeta-genome.cbrc.jp/annotation/>

+ 編集後記 +

久しぶりにバンドの生演奏を聴く機会がありました。メンバー同士アイコンタクトをとり、間奏中にはヴォーカルが素晴らしいテクニックを披露するメンバーを讃える様子に、ひとつの温かなまとまりとして心地よさを感じました。どんな時でも相手への思いやりが大切だと、そんな気持ちにさせてくれる演奏でした。研究においても、そのような気持ちを忘れずにチームワークを発揮して、酷暑となりそうなこの夏も仕事の山場も乗り切って行きたいです。

CBRCニューズレター第20号（2007年7月1日発行）

禁無断転載

【編集発行】

技術を社会へ
Integration for Innovation



独立行政法人

産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-42 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟

TEL: 03-3599-8080 (代表) FAX: 03-3599-8081 E-MAIL: info@cbrc.jp <http://www.cbrc.jp/>